

令和6年度 福岡県体育研究所
専門研修(断続研修)保健体育研修講座

「個人研究のまとめについて」

令和6年9月27日(金)

福岡県体育研究所

山口 拓郎

報告会について

期日:令和7年 2月18日(火)

報告会は、
「発表 → 質疑応答 → 講評」の流れ



質疑応答



講評



「個人研究のまとめ(冊子)」について

令和5年度

専門研修（断続研修）

「保健体育研修講座」

個人研究のまとめ



令和6年2月22日

福岡県体育研究所

1 主題設定の理由

・社会の要請、児童の実態
学習指導要領 など

2 主題・副主題の意味

3 研究の目標

4 研究の仮説

5 研究構想図

6 研究の実際と考察

① 単元構想図

② 授業の実際(副主題に沿って)
写真・資料を示しながら

③ 結果と考察

感想の記述、アンケート結果
などをもとに

7 研究のまとめ

「個人研究のまとめ(冊子)」について

令和5年度

専門研修（断続研修）

「保健体育研修講座」

個人研究のまとめ



令和6年2月22日

福岡県体育研究所

参考として

- 5月14日に配布した資料
- ・「個人研究のまとめ」の書式、構成、記入例のポイント等
- 昨年度の「個人研究のまとめ」

作成の際にお願いしたいこと

- 基本(書式、構成等)は押さえつつ、自分の言葉で作り上げる！
- 写真、動画、児童・生徒のつぶやき等を逃さないように！

※1月6日(月)までにA4両面6ページ山口宛てに提出願います！

あらためて(単元構造図【評価規準】)

		知識	技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
体育	内容のまとめ	～について理解している。	～できる。	～している。	～しようとしている。 (健康・安全)について留意している。確保している。
	単元	～について言ったり、書き出したりしている。～について具体例を挙げている。	～できる。	～している。	～しようとしている。 (健康・安全)について留意している。確保している。

★観察により学習状況を評価する場合、可能なものは

複数回の評価機会を設定

★観察により学習状況を把握する場合、1単位時間に

複数の観点の評価機会を設定しない

あらためて(単元構造図と学習指導案の整合性)

		片付け あいさつ	振り返り・片付け・あいさつ			片付け あいさつ
指導	知識	①				
	技能		①		②	
	態度	①		②	③	
評価	知識	①				
	技能		①		②	
	態度			①	②	③
評価規準	知識	①鉄棒を使った運動遊びの行い方を知り、そのことについて言ったり、書き出したりしている。				
	技能	①鉄棒を使って、手や腹、膝で支持したり、ぶら下がったり、揺れたりすることができる。 ②鉄棒に跳び上がった、跳び下がったり、易しい回転をしたりすることができる。	①手や足、腹でぶら下がった姿勢でじゃんけんをしたり、支持して体を揺らして遠くへ跳ぶ競争をしたりするなど、楽しくできる遊び方を選んでいく。	①器械・器具を使ったいろいろな運動遊びをする際に、順番やきまりを守り、誰でも仲良くしようとしている。 ②いろいろな姿勢をして遊ぶなど、鉄棒を使っての運動遊びに進んで取り組もうとしている。	主体的に学習に取り組む態度	

○本時の指導目標
 ・鉄棒に支持したり、体を揺らしたりする運動遊びを工夫することで、楽しくできる遊びを選ぶことができるようにする。(思考力、判断力、表現力等)
 ・鉄棒にぶら下がったり揺れたりする遊びをすることで、鉄棒を使っての運動遊びに進んで取り組むことができるようにする。(学びに向かう力、人間性等)

○学習の展開(学習指導案)

	学習内容・活動	指導上の留意点・ ★評価規準(評価方法)	学習 形態
導入 15	1 学習の準備を行い、準備運動をする。 (1) 場の準備と準備運動をする。 (2) 主運動につながる感覚づくりを行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ・ジャングルジムを使った運動 ・雲梯を使った運動 ・はんど棒を使った運動 </div> (3) 前時に見付けた遊びを振り返る。 ・鉄棒を使って、前時見付けた遊びをする。	・支持感覚、逆さ感覚、揺る感覚を揺むために、感覚づくり運動の時間を設定する。 ・本時のめあてを捉えやすくするために、前時に見付けた遊びを振り返る。	一斉
	めあて てつぼうにぶら下がるあそびをパワーアップさせよう。		
	3 遊び方を工夫する。		
	4 見付けた遊びを全体で交流する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> はっけんたいむ (1) 自分が見付けた遊びを友達に伝える。 (2) 自分がしてみたい遊びを選ぶ。 </div>	・遊び方の工夫を共有するために、良い工夫を見付けた児童に発表を促す。 ・より楽しい遊び方を選ぶようにするために、揺れ方に視点を当てた案問をする。	一斉
	5 交流で見付けた遊びを試す。 ・「はっけんたいむ」で選んだ遊び方や、さらに工夫した新しい遊び方を試す。	★①鉄棒に支持して、ぶら下がったり体を揺らしたりして、楽しくできる遊び方を選んでいく。(観察)	グループ
まとめ 7	6 本時の学習の振り返りをする。 ・「楽しく遊べたか」「もっと楽しい遊び方があるか」の視点で振り返る。 7 片付けをする。	・次時の活動への意欲を持たせるために、本時までに見付けた遊び方を確認しながら、児童の頑張りを称賛する。	一斉

単元構造図と学習指導案の見直しを！

諸 連 絡

検証授業日について

- ・日時と参観する指導主事を記載
- ・検証授業後に1時間程度協議を実施
⇒ 協議ができる会場の確保をお願いします。

次回の第8回研修会について

日 時…令和6年10月22日(火)

場 所…岡垣町立岡垣中学校

持参物…上履き、体育館シューズ、筆記用具、
バインダー、昼食